女たちは立ち上がり そして座り込んだ…

激動の3日間全記録報告会＆上映会

10月27～29日まで、経済産業省前で行われた「原発いらない福島の女たち」の座り込みアクションは、3日間で2371人（受付数）が参加し、その後、大阪・広島・富山・北海道・和歌山・京都・ロサンゼルス・ニューヨークにも広がり、社会現象になりました。
この間「福島の女たち」は、連日記者会見をし、経産省に申し入れをし、女性国会議員たちを訪問し、首相官邸にも入り、経産省を指編みロープで取り囲み、銀座の町をデモ行進しました。
やれる限り・思いつく限りのアクションに、果敢に挑戦した「福島の女たち」、その3日間の全記録を報告いたします。
ぜひ、会場へお越しください。
脱原発社会実現に向けて、大いに夢を語りましょう。

★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★☆★

日時■12月25日（日・クリスマス）13時～15時半
会場■郡山市労働福祉会館2F　中ホール（100人）
入場■無料（カンパ歓迎）
主催■原発いらない福島の女たち

Eメールアドレス　onna100nin@yahoo.co.jp
黒田節子（郡山市）　080－3195－0229
佐々木慶子（福島市）　080－5563－4516
庄司郁子（三春町）　070－6498－2117
大賀あや子（大熊町）　080－1807－6999
ブログアドレス http://onna100nin.seesaa.net/

報告会では、女性アクションの成功事例を描いたドキュメンタリー映画「グリーナムの女たち（1984年制作）」を上映いたします。当日は、翻訳を担当した近藤和子さんが来場し、解説をしてくださることになりました。どうぞ、お楽しみに！

「グリーナムの女たち」

‘80年代の映画ですが、現時点で観ても新鮮で、元気づけられる映画でした。
これまで社会的に弱者と見なされ、保護されるべき存在であった女性達が立ち上がり、自然発生的に座り込みをし、18年という長い歳月をかけてとうとう基地の軍事的機能を消滅させます。
何度も警官によってひきずられ、逮捕され、裁判、あるいは強制退去させられます。
それでも彼女たちは諦めず、微笑み、歌を口ずさんで応戦します。
どんな圧力に対しても屈せず、歌やダンスによって応戦、ルールを決め、リーダーが統率するのではなく、お互いに協力し助け合う、それこそが支配する側の脅威になったことでしょう。
この運動がもたらした効果とそのやり方は歴史的な意義があり、今もなお、あらゆる運動のあり方にヒントを与えてくれると思います。
この映画を女性と男性という単純な対立と見なすのではなく、原発労働者と電力会社、あるいは市民と権力を有する側など、差別問題や、貧困の問題として捉えることもできると思います。
是非男性にも観ていただきたいです。

（「アナニマス・ヴォイスネ申推し」から転載）